

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201010400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	介護マーク普及啓発事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 片山 誠之
		取組み事項	福祉に対する意識の高揚を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症等の介護者					
	誰(何)を対象として	認知症等の介護者と一般市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護環境の向上を図る					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症等の介護において、介護中であることを周囲の者に理解しやすくするために、介護マーク名札を配付し、介護環境の向上を図る。平成27年度よりは配布より普及啓発を重点的に行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	介護マーク名札配付	枚	-	-	-	
	ポスター配布	枚	-	-	-	
	チラシ配布	枚	-	-	-	
	認サポ講座にて周知	回	34	21	6	

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.020	0.020	100		0	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	518,420	522,509	101	370,920	71	
	事業費	42,661		0		-	
	合計	561,081	522,509	93	370,920	71	
財源内訳	国庫支出金	16,424		0		-	
	県支出金	8,212		0		-	
	市債			-		-	
	その他	9,812		0		-	
	一般財源	526,633	522,509	99	370,920	71	
合計	561,081	522,509	93	370,920	71		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護マーク名札配布枚数(H27年度より統計なし)						
指標説明(式)		介護マーク名札配布枚数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
枚	目標	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	
指標名2		介護マーク普及啓発						
指標説明(式)		認知症サポーター養成講座での介護マークの説明回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	20	30	150.0	30	100.0		
	実績	34	21	61.8	6	28.6		

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト(H27年度より統計なし)							
指標説明(式)		事業費／配付者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2		1回の講座にかかる費用							
指標説明(式)		事業費／認サポでの説明回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	2150	0	0.0	0	-			
	実績	1254	0	0.0	0	-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症等の介護において、介護中であることを介護マークにより周囲の者に理解しやすくするため、介護マークを配付し、認知症サポーター養成講座の中でも普及啓発できた。	3
効率性	手段の最適性	普及啓発の方法として、単独ではなく「認知症サポーター養成講座」等のまちかど出前講座とあわせて周知した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	介護マーク名札を配付することよりも、「介護マーク」の意味や存在理由を周知することが重要。今後も普及啓発に努める必要がある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	配布数の増加ではなく、一般市民に対する介護マークのさらなる普及啓発が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	介護マークの普及啓発について、単独ではなく、「認知症サポーター養成講座」等のまちかど出前講座とあわせて周知していく。



配点	32.5
総合評価	13.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020100		事業の種類	5		
年度	2	事務事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業		予算事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團剛	担当者名	長棟 尚美
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者						
	誰(何)を対象として	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	永遠の平和と郷土の繁栄を祈念することと併せ遺族会の活動を支援する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		戦没者遺族等団体の活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	遺族会会員	人	207	207	155	
	原爆被爆者の会会員	人	0	0	0	
	遺族会総会参加者	人	49	38	81	
	原爆被爆者の会総会参加者	人	0	0	0	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	667,100	670,309	100	641,720	96		
	事業費	150,000	150,000	100	150,000	100		
	合計	817,100	820,309	100	791,720	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	817,100	820,309	100	791,720	97		
合計	817,100	820,309	100	791,720	97			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		主要行事参加者数						
指標説明(式)		相生市遺族会総会参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0		0.0
	実績	49	38	77.6	81	213.2		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		主要行事参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		補助金÷遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3,000	3,000	100.0	3000	100.0			
	実績	3,061	3947	128.9	1851	46.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	遺族会活動の活動を支援する事業目的はほぼ達成できた。	4
効率性	コストの節減	主要事業参加者一人当たりのコストは前年度とほぼ同数である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりの事業が行われている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	会員の高齢化に伴い会員の減少が見込まれる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	会員継続のはたらきかけを行う。また、青年部への会員移行を推進する。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020200		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	戦没者遺族等援護事業		予算事業名	戦没者遺族等援護事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛 担当者名 長棟 尚美	
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	兵庫県民(相生市民)					
	誰(何)を対象として	兵庫県民(相生市民)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県内の戦没者及び自衛隊、警察、消防その他あらゆる分野で郷土社会に貢献のあった人々の御霊に対して慰霊と感謝の誠をささげ、永遠の平和と郷土の繁栄を祈念してその実現に寄与する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		慰霊に関する諸行事、遺徳顕彰に関する事業、遺族援護事業を行う兵庫県遺徳顕彰会に対し負担金を支出、その活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	負担金	円	38,000	38000	38000	
	戦没者追悼式委託料	円	-	364780	-	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.036	0.064	178	0.192	300		
	臨時職員			-	0.048	-		
支出内訳	人件費	637,364	847,669	133	1,802,891	213		
	事業費	38,000	402,780	1,060	38,000	9		
	合計	675,364	1,250,449	185	1,840,891	147		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	675,364	1,250,449	185	1,840,891	147		
合計		675,364	1,250,449	185	1,840,891	147		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業数						
指標説明(式)		事業数(慰霊祭事業、広報事業、援護事業)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	0.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0		
指標名2		戦没者追悼式(3年に1回、H28.31.34…)						
指標説明(式)		参加者						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	-	100	-	-	-		
	実績	-	77	-	-	-		

【効率性】

指標名1		事業費負担額							
指標説明(式)		相生市事業負担額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	38,000	38,000	100.0	38000	100.0			
	実績	38,000	38000	100.0	38000	100.0			
指標名2		戦没者追悼式参加者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(委託料)÷参加者(77人)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	—	4,651	—	—	—			
	実績	—	4737	—	—	—			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業計画に基づき、各種事業に関する広報を実施した。	3
効率性	負担割合の適正化	負担金額は人口割等で定められている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画は県下各市長等で構成される評議員会を経て決定されており、計画どおり実施されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	戦没者遺族の高齢化が進んでいるため、各種事業の広報の方法等を再考する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各種行事参加者の維持に努める。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020300		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	更生保護活動補助事業		予算事業名	更生保護活動補助事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛	
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	
		担当者名	長棟 尚美		主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		保護司法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被収容者					
	誰(何)を対象として	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被収容者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	犯罪、非行のない社会をつくる					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		更生保護活動等を行う赤穂保護区保護司会、姫路少年刑務所教諭事業後援会に対して補助金、負担金を支出、その活動を支援する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	保護司(相生)	人	13	13	13		
	教諭師	人	17	15	15		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.064	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	845,516	847,669	100	804,200	95		
	事業費	235,000	435,000	185	235,000	54		
	合計	1,080,516	1,282,669	119	1,039,200	81		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,080,516	1,282,669	119	1,039,200	81		
	合計	1,080,516	1,282,669	119	1,039,200	81		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		保護司(相生)							
指標説明(式)		人員							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	14	13	92.9	13	100.0		0.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		保護司一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷人員							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	8,500	10909	128.3	10000	91.7			
	実績	9,230	9230	100.0	9230	100.0			

  

指標名2		社会を明るくする運動参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費(20万円)÷参加者(123人) 3年に1回(H28、R元、R04・・・)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	0	1369	-	0	0.0			
	実績	0	1626	-	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	少年刑務所被収容者の社会復帰後援という事業目的は達成されている。	4
	期待する目標	犯罪、非行のない社会の実現に寄与するという事業目的は達成された。	
効率性	執行体制の効率性	赤穂保護区保護司会との緊密な連携により、現在の執行体制は最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	更生保護事業への補助について計画どおり実行できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	定年制の完全実施により、保護司に欠員が生じている。今後保護司の確保が問題となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	保護司の待遇の見直し(処遇面・精神面のサポートや経済的手当ての充実等)を行う。

配点	25
総合評価	20



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020400		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	民生児童委員運営事業		予算事業名	民生児童委員運営事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛 担当者名 番匠 芳敬	
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		民生委員法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民の相談及び支援者					
	誰(何)を対象として	一人暮らしの高齢者、母子家庭、児童、生活困窮者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の生活状態を適切に把握し、被支援者に対し、適確な相談指導を行い、地域福祉の増進を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員・児童委員による高齢者、障害者、児童等のいる家庭への訪問・連絡活動など地域福祉の増進を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	相談・支援件数	回	1,431	1,624	1,722	
	訪問回数	回	15,212	15,619	15,621	

## 3 投入資源

		一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.200	0.184	92	0.188	102			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	1,856,540	1,734,469	93	1,643,680	95			
	事業費	7,692,300	8,095,720	105	7,758,600	96			
	合計	9,548,840	9,830,189	103	9,402,280	96			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	9,548,840	9,830,189	103	9,402,280	96			
合計	9,548,840	9,830,189	103	9,402,280	96				

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		一人当たり訪問回数						
指標説明(式)		訪問回数/委員数(66名)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	230	230	100.0	230	100.0		0.0
	実績	230	236	102.6	236	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		民生児童委員一人当たりの活動費							
指標説明(式)		民生児童委員活動費/訪問回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	490	490	100.0	494	100.8			
	実績	489	481	98.4	381	79.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標どおりの成果があがった。	5
	市民サービス	地域における支援を必要とする方に効率的に福祉サービスが提供できた。	
効率性	執行体制の効率性	多様な相談内容・支援活動に適切に対応でき、行政等関係機関に繋ぐことができた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	民生児童委員の協力のもと、地域福祉活動の増進に貢献できた。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小地域地域福祉活動の推進(隣近所での見守り・安心活動)を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	民生児童委員協議会・自治会・社会福祉協議会との連携を強化する。

配点	25
総合評価	21

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020500		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	社会福祉協議会活動事業		予算事業名	社会福祉協議会活動事業(社会福祉)	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛	
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	
					担当者名	玉田 和靖	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会福祉法 相生市社会福祉法人の助成に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市社会福祉協議会の活動とその運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における福祉活動の中心的役割を果たす相生市社会福祉協議会の活動を推進する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		種々の社会福祉活動を展開し、地域福祉活動推進に大きな役割を果たす相生市社会福祉協議会の運営及び機能・体制維持のため補助を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	補助額	円	15,900,000	15,900,000	17,098,000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.140	0.116	83	0.104	90		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,410,500	1,231,949	87	1,075,000	87		
	事業費	15,900,000	15,900,000	100	17,098,000	108		
	合計	17,310,500	17,131,949	99	18,173,000	106		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	17,310,500	17,131,949	99	18,173,000	106		
	合計	17,310,500	17,131,949	99	18,173,000	106		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市社会福祉協議会主要事業						
指標説明(式)		主要事業(活動目標数)計画数・実績						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	14	14	100.0	14	100.0	0.0	
	実績	14	14	100.0	14	100.0		
指標名2		社会福祉協議会法人運営事業費に占める補助金の割合						
指標説明(式)		地域福祉推進事業事業費支出決算額/補助額(3事業合計) × 100 27年度より社会福祉法人の会計基準が変更						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	65	65	100.0	65	100.0		
	実績	89	89	100.0	74	83.1		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会福祉協議会で行われる様々な福祉関連事業は計画通りに達成されている。	4
効率性	コストの節減	コスト節減に努めるべきではあるが、更なる地域福祉の増進には社会福祉協議会の役割は大きいいため補助金額等は3年毎に1回見直し(H29見直し、次回H32)を行うこととしている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会福祉協議会で行われる福祉関連事業は計画通り実行されており、地域における福祉活動推進に大きく貢献している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	地域福祉を推進するために、市民のニーズを把握する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズの把握のため、各種団体へのヒアリングやアンケート調査を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020600		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	日本赤十字社事業		予算事業名	優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛	担当者名 横川 昌紀
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		日本赤十字社法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が世界の平和と福祉の増進のため活動を行う日本赤十字社の趣旨を理解し、全世帯が社員となり、奉仕活動の活性化を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		日本赤十字活動資金募集(自治会を通じて募集)				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	活動資金(H28までは社資)額	円	4,667,300	4,578,000	4,458,050	

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.108	0.088	81	0.052	59		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,172,612	0	0	722,960	-		
	事業費			-		-		
	合計	1,172,612	0	0	722,960	-		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,172,612	0	0	722,960	-		
	合計	1,172,612	0	0	722,960	-		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		日本赤十字社事業						
指標説明(式)		活動資金(H28までは社資)募集実績						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	4,600,000	4,600,000	100.0	4,600,000	100.0	0.0	
	実績	4,667,300	4,578,000	98.1	4,458,050	97.4		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		県割り当て目標達成率							
指標説明(式)		活動資金実績額÷県目標額(前年実績額)×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0			
	実績	100.5	98.0	97.5	97.3	99.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社資について、単位自治会の協力により目標にせまる額を募集することができた。	4
効率性	手段の最適性	自治会の協力により「理解と共感による納得」に基づく赤十字社員の募集が行えた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社資募集について毎年、県の目標額を上回る成果をあげている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	日赤活動、奉仕団活動の周知と災害時に備えた訓練を実施する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時に備えた訓練実施。西播磨赤十字奉仕団研修を主催し、近隣地域を含めた訓練も行う。

配点	25
総合評価	19

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201020700		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	地域福祉計画策定事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛	担当者名 番匠 芳敬
		取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名		地域福祉計画策定事業					
根拠法規及び関連法規		社会福祉法第107条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民					
	誰(何)を対象として	地域住民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小地域福祉活動(隣近所による見守り活動等)の活性化を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		地域福祉計画の計画期間が満了となるため、第2次地域福祉計画(平成30年度～34年度)を策定済。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	市民アンケート調査	件	-	-	-	
	地域福祉計画策定委員会	回	-	-	-	

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	-	0.030	-		
	参事以下職員	0.100	0.100	-	0.024	-		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,113,140	1,113,709	-	0	-		
	事業費			-		-		
	合計	1,113,140	1,113,709	-	0	-		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,113,140	1,113,709	-	0	-		
	合計	1,113,140	1,113,709	-	0	-		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民アンケート調査結果						
指標説明(式)		回収件数/発送連数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉計画推進委員会を設置し、計画の推進状況の確認、評価等を行う。また、推進管理の点検にあたっては、PDCAサイクルを取り入れ、継続的な改善に取り組む。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201030100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	住みよい福祉のまちづくり事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛	担当者名
		取組み事項	ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)、ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針、兵庫県福祉のまちづくり条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	主に高齢者、障害者等					
	誰(何)を対象として	主に高齢者、障害者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人も誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを目指す。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		障害のある人の活動の場や行動範囲を広げ、自由な社会参加を促進するため、障害の理解を深めるとともに、人々の意識に関わる障壁などを取り除く。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	福祉のまちづくり条例届出件数	件	0	0	0	
	福祉のまちづくり条例適合証交付件数	件	0	0	0	
	ゆずりあい駐車場看板新設数	箇所	0	0	0	
	ゆずりあい駐車場利用証交付件数	件	72	57	58	

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.064	64	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,113,140	1,113,709	100	804,200	72	
	事業費			-		-	
	合計	1,113,140	1,113,709	100	804,200	72	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,113,140	1,113,709	100	804,200	72	
合計	1,113,140	1,113,709	100	804,200	72		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		適合証交付率						
指標説明(式)		適合証交付件数÷まちづくり条例届出件数×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	0	0	-	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		利用証交付件数1件当たりの費用							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷交付件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	18507	16025	86.6	14321	89.4			
	実績	15460	19539	126.4	13866	71.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	兵庫県が実施する「兵庫ゆずりあい駐車場制度」の受付事務等を適切に行い、歩行困難者の兵庫ゆずりあい駐車場の円滑な利用を促進することができた。	4
	市民サービス	歩行困難者が車いす使用者用駐車施設への駐車がしやすくなり、利便性の向上が図れ、社会参加の促進につながった。	
効率性	コストの節減	利用証等は県が作成しているので事業経費は発生しない。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に事務が執行されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	歩行困難者の社会参加の促進を図るために制度の普及啓発に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	窓口及びホームページ等、制度の周知方法を検討する。



配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201030300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業		予算事業名	地域自殺対策緊急強化事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	三浦 貴史 担当者名 山下 恵	
		取組み事項	ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		自殺対策基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康問題や多重債務からの経済的問題など、あらゆる要因で自殺を考えている人					
	誰(何)を対象として	市民の自殺に対する意識					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが自殺に対する意識を高め、健康面やうつ病に対する理解を深めることにより、気づきや傾聴の大切さを知り、自殺を未然に防ぐ。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		健康大学講座の開催をはじめ、啓発用のポスターや横断幕の掲示による一般市民への啓発及び福祉施設職員などを対象に、自殺予防対応ができる人材の養成をするための研修を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	こころの健康づくり講演会	人	104	130	0	
	街頭キャンペーン	人	600	1,000	1,000	
	相生市自殺予防対策研修会	人	57	35	23	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.260	0.140	54	0.168	120		
	臨時職員		0.008	-		0		
支出内訳	人件費	2,302,580	1,429,709	62	1,508,280	105		
	事業費	122,920	111,340	91	319,500	287		
	合計	2,425,500	1,541,049	64	1,827,780	119		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	32,800	53,000	162	159,000	300		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,392,700	1,488,049	62	1,668,780	112		
合計	2,425,500	1,541,049	64	1,827,780	119			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		自殺死亡者数						
指標説明(式)		自殺死亡者数(前年度比10%減を目標)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	0	0.0	-	
	実績	5	4	80.0	4	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		自殺対策啓発講演会							
指標説明(式)		自殺対策啓発講演会受講者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	100	150	150.0	150	100.0			
	実績	104	130	125.0	0	0.0			
指標名2		自殺予防対策(ゲートキーパー)研修							
指標説明(式)		自殺予防対策(ゲートキーパー)研修受講者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0			
	実績	57	35	61.4	23	65.7			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自殺者数は前年度と増減なし。新型コロナウイルス感染症のため、自殺対策啓発講演会は実施せず、街頭キャンペーンにおいても配布予定のティッシュを生活習慣病健診受診者への配布と変更した。	4
	市民サービス	コロナ禍のため講演会は未実施とし、コロナ禍における悩みの増大も懸念されるため、相談先の周知啓発を徹底した。ゲートキーパー養成研修については、高齢者を取り巻く家族も対象とする介護専門職を対象に実施した。	
効率性	手段の最適性	講演会等の開催は難しいため、相談窓口の普及啓発としてウエットティッシュを作成し、保育機関から学校関係など広く配布の協力を求めた。個別配布のため、感染拡大の状況を踏まえると適切であった。	4
	執行体制の効率性	コロナ禍における生活が長く続いており、より一層ストレスフルな社会となっているため、自殺対策の必要性や重要性を、もっと広く市民に伝える必要がある。引き続き、感染予防対策を徹底の上適切に対応する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、より一層ストレスフルな生活が長く続いているが、社会情勢に応じて、適宜変更しながら事業目的を達成できるよう事業展開出来ている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	感染予防対策を念頭に置きながらの効果的な事業展開の手段について引き続き検討が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、感染予防対策実施のうえ、適宜対応する。



配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201040100		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	総合福祉会館管理運営事業		予算事業名	総合福祉会館管理運営事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	團 剛	担当者名 玉田 和靖
		取組み事項	地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
		実施計画事業名	総合福祉会館改修事業		総合福祉会館改修		
		根拠法規及び関連法規	相生市立総合福祉会館の設置及び管理に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動が増進される					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動の拠点となる総合福祉会館を管理運営する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用人数	人	72492	65148	32599	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.084	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	994,196	995,469	100	939,600	94		
	事業費	19,874,817	21,820,680	110	43,864,678	201		
	合計	20,869,013	22,816,149	109	44,804,278	196		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	20,869,013	22,816,149	109	44,804,278	196		
合計	20,869,013	22,816,149	109	44,804,278	196			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数						
指標説明(式)		利用人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	70,000	70,000	100.0	70,000	100.0		0.0
	実績	72,492	65,148	89.9	32599	50.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		人数当りのコスト							
指標説明(式)		総経費／利用人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	320	320	100.0	625	195.3			
	実績	297	334	112.5	1345	402.7			

  

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	文化協会に所属する団体へのなぎさホール利用を推奨した結果、利用人数は減少したものの、地域福祉活動拠点として一定数の利用者は見込める	4
	市民サービス	市民、福祉団体の福祉活動拠点として十分機能している	
効率性	コストの節減	空調設備の適正な使用を推奨し、高熱費等のランニングコスト削減を継続する	4
	執行体制の効率性	問題なし	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉活動拠点としての機能は十分果たしている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	地域福祉活動拠点としての機能を維持できるよう、計画的な維持修繕を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	地域福祉活動拠点としての機能を維持できるよう適切な維持修繕を行う。

配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201040200		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	老人いこいの家等管理事業		予算事業名	老人いこいの家等管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	藤田 達郎
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例、相生市立古池自治会館の設置及び管理に関する条例、相生市立那波野地域福祉活動センターの設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者や障害者等					
	誰(何)を対象として	在宅高齢者や障害者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	教養の向上やレクリエーション等の場を与え、高齢者等の心身の健康の増進を図り福祉の増進に寄与する					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		教養の向上やレクリエーション等の場の供給				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用人数	人	6025	4965	1557	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.080	0.036	45	0.029	81		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	964,460	640,749	66	567,250	89		
	事業費	1,513,570	1,606,149	106	1,610,636	100		
	合計	2,478,030	2,246,898	91	2,177,886	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,478,030	2,246,898	91	2,177,886	97		
合計	2,478,030	2,246,898	91	2,177,886	97			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数						
指標説明(式)		利用人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	6500	6500	100.0	5500	84.6		0.0
	実績	6025	4965	82.4	1557	31.4		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		利用人数あたりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	415	397	95.7	506	127.5			
	実績	411	452	110.0	1622	358.8			

  

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者のレクリエーション等生きがいづくりの場として、また地域住民のきずなを深める場として有効であるが、各施設の利用人数は減少している。	3
	組織運営・適正管理	那波野地域福祉活動センターと古池自治会館は、平成20年度より指定管理者による管理に移行。老人いこいの家はシルバー人材センターに清掃委託のみ	
効率性	執行体制の効率性	那波野地域福祉活動センター及び古池自治会館については、H20より指定管理者制度を導入し経費節減を図りつつ有効利用の促進に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりやや遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新型コロナウイルスによる利用者の減少、利用者の固定化

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新型コロナウイルスまん延前の利用者数に戻すことを目指し、周知を図る。



配点	25
総合評価	15



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201040300		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	老人福祉センター管理事業		予算事業名	老人福祉センター管理事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	丸山 由紀子	
		取組み事項	地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	
		実施計画事業名	老人福祉センター解体撤去工事		担当者名	藤田 達郎	
					主要事業の指定	無	
		根拠法規及び関連法規	相生市立老人福祉センター条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	在宅高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康の増進、教育の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	機能を生きがい交流センターに移管し、現在休止届を出している				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.048	0.020	42	0.020	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	726,572	522,509	72	506,320	97		
	事業費	149,108	144,025	97	140,636	98		
	合計	875,680	666,534	76	646,956	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	875,680	666,534	76	646,956	97		
	合計	875,680	666,534	76	646,956	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数						
指標説明(式)		利用人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	現在休止中	
	組織運営・適正管理	現在休止中	
効率性	コストの節減	現在休止中	
	執行体制の効率性	現在休止中	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現在休止中	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	施設の解体に向けた検討が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	施設の解体に向けて検討していく。

配点	25
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020201040400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業		予算事業名	生きがい交流センター管理運営事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	丸山 由紀子	
		取組み事項	地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	
		実施計画事業名	生きがい交流センター空調工事		担当者名	藤田 達郎	
		実施計画事業名			主要事業の指定	無	
		実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりのためのセミナー開催。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者の教養の向上と健康づくりのためセミナー及び市民の文化活動の場を提供する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	一般利用者数	人	19594	16954	11907	
	生きがいセミナー出席者	人	2031	1956	1581	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.156	0.124	79	0.132	106		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,529,444	1,291,069	84	1,264,560	98		
	事業費	9,776,661	9,141,627	94	9,268,285	101		
	合計	11,306,105	10,432,696	92	10,532,845	101		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	11,306,105	10,432,696	92	10,532,845	101		
合計	11,306,105	10,432,696	92	10,532,845	101			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		一般利用者数(セミナー参加者除く)						
指標説明(式)		一般利用者数(セミナー参加者除く)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	18550	20000	107.8	18000	90.0		0.0
	実績	19594	16954	86.5	11907	70.2		
指標名2		生きがいセミナー出席者数						
指標説明(式)		生きがいセミナー出席者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	2850	2100	73.7	1500	71.4		
	実績	2031	1956	96.3	1581	80.8		

【効率性】

指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数(一般利用者+生きがいセミナー出席者数)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	456	455	99.8	510	112.1			
	実績	452	483	106.9	687	142.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	利用者へのアンケート調査等の実施により、利用者ニーズにあった講座を開催しており、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。	4
効率性	コストの節減	指定管理者制度の導入により、低コストで高サービスの運営に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新型コロナウイルスによる利用控えが顕著だが、感染対策を講じながらニーズに合った講座の開設準備を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	生きがい交流センターの指定管理者と連携を図り、具体的なニーズ調査、計画的な講座開設に向けての準備を行う。

配点	32.5
総合評価	22